

ふりがな 氏 名	おだ くみこ 小田 久美子	職 名	准教授
取 得 学 位	修士(芸術工学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	ファッションデザイン、ドローイング、ドレスメーカー実習、ファッションクリエイティブ実習、モード論、家庭生活における被服		
所 属 学 会	ファッションビジネス学会(平成23年6月～現在) 日本家政学会(平成24年7月～現在) 日本デザイン学会(平成25年5月～現在) 繊維製品消費科学会(平成25年4月～現在) 芸術工学会(平成28年4月～現在) 日本繊維機械学会(平成29年4月～現在) 日本人間工学会(平成29年11月～現在)		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践例 名演小劇場での学外授業を企画・実施 (学生の学習促進のための学外授業における取り組み)	平成30年 1月23日	ファッションデザインを専攻する学生の感性を養う上で必要なデザイナーのクリエイションと作品を鑑賞し、ファッション知識を習得するためにドキュメンタリー映画「ドリス・ヴァン・ノッテン」を鑑賞し、作品発表(ファッションショー)の参考にする。
教育方法の実践例 松坂屋美術館での学外授業を企画・実施 (学生の学習促進のための学外授業における取り組み)	平成30年 1月23日	ファッションドローイングを専攻する学生の画力向上のために必要なイラストレーター作品を鑑賞し、ファッション知識を習得するため、「ミュシャ展」を鑑賞し、ドローイング作品制作の参考にする。
教育方法の実践例 NDK(日本デザイン文化協会主催)フレッシュコンテストへの出品、製作の指導(生活学科生活創造デザインコース1、2年生) (学生の授業外における学習促進のための取り組み)	平成30年 4月～7月8日	NDKフレッシュコンテストは、地域服飾文化の発展、服飾教育、服飾産業へ貢献し、デザインの技術、感性を競い合うコンテストである。デザイン画審査(1次審査)を通過した学生は、実物製作(2次審査)を行い、モード学園名古屋校スパイラルタワーにてファッションショー形式で発表を行う。デザイン画、パターン作成、染色、縫製、アクセサリーなど、各専門教員が授業外で指導を行っている。特にデザイン考察、デザイン画製作、作品縫製、スタイリングを中心に指導した。 平成30年のテーマは「異素材とのコラボ」、2年生4名が入選した。
	平成31年 4月～令和元年7月14日	昨年度と同様に、デザイン考察、デザイン画製作、作品縫製、スタイリングを中心に指導した。 平成31年のテーマは「さあ、2020!日本の伝統美」、2年生6名が入選し、内1名が準グランプリを獲得した。
	令和元年4月～令和2	昨年度と同様に、デザイン考察、デザイン画製作、作品縫製、スタイリングを中心に指導した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
<p>教育方法の実践例</p> <p>教育方法の実践例</p> <p>NDK Fresh Contest (中部地区)の応募デザイン画指導 (学生の授業外における学習促進のための取り組み)</p>	<p>年7月25日</p>	<p>令和元年のテーマは「未来宣言」、2年生3名が入選し、内1名が準グランプリを獲得した。</p>
	<p>令和2年4月～令和3年7月11日</p>	<p>昨年度と同様に、デザイン考察、デザイン画製作、作品縫製、スタイリングを中心に指導した。 令和2年のテーマは「国旗のデザイン美」、2年生2名が入選した。</p>
	<p>令和3年4月～令和4年7月10日</p>	<p>昨年度と同様に、デザイン考察、デザイン画製作、作品縫製、スタイリングを中心に指導した。 令和2年のテーマは「2024 はパリ、出かけようこの一着で」、2年生4名が入選した。</p>
	<p>平成29年12月～平成30年4月</p>	<p>ファッションデザインコンテスト情報を提供し、積極的に応募するように呼びかけた。応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。 応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。 応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。また、応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。</p> <p>平成30年度は2年生4名が製作部門のデザイン画審査(1次審査)を通過した。さらに、2年生1名がデザイン画部門に入選した。</p>
	<p>平成30年12月～平成31年4月</p>	<p>令和元年度も同様に、応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。 平成30年度は2年生6名が製作部門のデザイン画審査(1次審査)を通過した。</p>
	<p>令和元年12月～令和2年4月</p>	<p>令和2年度も同様に、応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。 令和元年度は2年生3名が製作部門のデザイン画審査(1次審査)を通過した。さらに、2年生1名がデザイン画部門に入選し、準グランプリに入賞した。</p>

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践例	令和2年4月～令和3年7月11日	令和3年度も同様に、応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。 令和元年度は2年生2名が製作部門のデザイン画審査(1次審査)を通過した。
	令和3年4月～令和4年7月10日	令和4年度も同様に、応募を希望する学生に対しては、コンテストの一次審査合格のためにデザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。 令和元年度は2年生4名が製作部門のデザイン画審査(1次審査)を通過した。
教育方法の実践例 NDK(日本デザイン文化協会主催)フレッシュコンテストの実物審査会および作品発表ファッションショーでのウォーキングとスタイリングの指導(生活学科生活創造デザインコース1、2年生)	平成30年7月8日	NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品のフィッティング、スタイリング、ウォーキングを指導した。実物審査(2次審査)は、ファッションショー形式で行われるため、製作作品のデザインポイントを審査員にアピールできるように指導した。 平成30年度も同様に、NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品のフィッティング、スタイリング、ウォーキング、デザインポイントのアピール方法について指導した。
(学生の授業外における学習促進のための取り組み)	令和元年7月14日	令和元年度も同様に、NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品のフィッティング、スタイリング、ウォーキング、デザインポイントのアピール方法について指導した。
	令和2年7月25日	令和2年度の実物審査(2次審査)は、製作作品のデザインポイントを審査員にプレゼンテーション形式で発表するため、作品をアピールできるように指導した。NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品のフィッティング、スタイリング、ウォーキング、プレゼンテーション方法について指導した。
	令和3年7月11日	令和3年度も同様に、NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品のフィッティング、スタイリング、ウォーキング、デザインポイントのアピール方法について指導した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践例	令和4年7月10日	令和4年度も同様に、NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品のフィッティング、スタイリング、ウォーキング、デザインポイントのアピール方法について指導した。
教育方法の実践例 NDK(日本デザイン文化協会主催)フレッシュコンテストの実物審査会および作品発表ファッションショー見学の学外授業を行った。(生活学科生活創造デザインコース1年生) (学生の授業外における学習促進のための取り組み) 教育方法の実践例	平成30年7月8日	NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品の実物審査(2次審査)を見学する学外授業を行った。昨年度と同様に、1年次にファッションショーを見学してもらい、今後のファッションデザイン関連の授業やコンテスト参加の参考になる様に作品解説、審査ポイントなどを解説した。
教育方法の実践例	令和元年7月14日	NDKフレッシュコンテストの実物審査(2次審査)が行われるモード学園名古屋校スパイラルタワーにて、作品の実物審査(2次審査)を見学する学外授業を行った。昨年度と同様に、1年次にファッションショーを見学してもらい、今後のファッションデザイン関連の授業やコンテスト参加の参考になる様に作品解説、審査ポイントなどを解説した。
教育方法の実践例 カセラサラフェスタ ファッションコンテストへの出品、製作の指導(生活学科生活創造デザインコース1年生) (学生の授業外における学習促進のための取り組み)	平成30年10月～平成31年3月	カセラサラフェスタ2018ファッションコンテストはファッションを学ぶ学生が応募するコンテストで今回である。ファッションデザインコンテスト情報を提供し、積極的に応募するように呼びかけ、デザイン画作成テクニックや素材サンプルおよびデザイン応募シートの書き方について指導した。デザイン画審査(1次審査)を通過した学生は、実物製作(2次審査)を行い、名古屋市の久屋大通庭園フラリエにてファッションショー形式で発表を行った。デザイン画、パターン作成、縫製、アクセサリーなど、各専門教員が授業外で指導を行っている。特にデザイン考察、デザイン画製作、作品縫製、スタイリングを中心に指導した。 1次審査通過学生は、実物審査のファッションショーに参加し、1年生4名が一次審査通過し、内1名が知県専修学校各種学校連合会長賞を受賞した。デザイン画部門には3名が入選した。
教育方法の実践例	令和元年10月～令和2年2月	令和元年度も同様に、カセラサラフェスタ2020ファッションコンテスト情報を提供し、応募支援、デザイン画作成テクニック、デザイン応募シートの書き方について指導し、1年生3名が一次審査を通過した。
教育方法の実践例	令和2年10月～令和3年2月	令和2年度も同様に、カセラサラフェスタ2021ファッションコンテスト情報を提供し、応募支援、デザイン画作成テクニック、デザイン応募シートの書き方について指導し、1

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践例	令和3年10月～令和4年3月	<p>年生2名が一次審査を通過した。</p> <p>令和3年度も同様に、カセラサラフェスタ 2022 ファッションコンテスト情報を提供し、応募支援、デザイン画作成テクニック、デザイン応募シートの書き方について指導し、1年生2名が一次審査を通過した。</p>
教育方法の実践例	令和4年10月～令和5年3月	<p>令和4年度も同様に、カセラサラフェスタ 2023 ファッションコンテスト情報を提供し、応募支援、デザイン画作成テクニック、デザイン応募シートの書き方について指導し、1年生2名が一次審査を通過した。</p>
教育方法の実践例 「瑞穂通り三丁目市場」において、生活学科 生活創造デザインコースの学生作品の展示を実施 (学生の授業外における学習促進のための取り組み)	平成30年7月～平成31年1月	<p>学生作品の質と学習意欲の向上、地域とのコミュニケーションを目的として、「瑞穂通り三丁目市場」において、学生作品を展示した。平成30年度も同様に、学生作品の質と学習意欲の向上、地域とのコミュニケーションを目的として、「瑞穂通り三丁目市場」において、学生作品を展示した。1回が3日間の展示期間で、2回開催し、内1回はNDK コンテスト作品、1回は卒業研究ゼミ作品を展示した。</p>
教育方法の実践例	令和元年10月～令和2年1月	<p>平成31年度も同様に、学生作品の質と学習意欲の向上、地域とのコミュニケーションを目的として、「瑞穂通り三丁目市場」において、学生作品を展示した。1回が3～8日間の展示期間で、2回開催し、内1回はNDK コンテスト作品、1回は卒業研究ゼミ作品を展示した。</p>
教育方法の実践例 生活学科生活創造デザイン専攻行事として、神戸ファッション研修を企画・実施 (学生の授業外における学習促進のための取り組み)	平成30年9月10日	<p>感性を磨き、創造性を養う事を目的に、生活学科の学生を対象とした美術鑑賞、ファッション知識習得、舞台演出・衣装見学を行うため、神戸ファッション美術館、宝塚大劇場・プチミュージアムにおける研修を企画し実施した。</p>
教育方法の実践例	令和元年9月9日10日	<p>昨年度と同様に、感性を磨き、創造性を養う事を目的に、生活学科の学生を対象とした美術鑑賞、ファッション知識習得、舞台演出・衣装見学を行うため、神戸ファッション美術館、宝塚大劇場における研修を企画し実施した。</p>
教育方法の実践例 名古屋女子大学図書館の学科選書の指導・実施	平成30年2月	<p>「学生作品選抜展 2017」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授業解説、作品キャプションを作成した。</p>
教育方法の実践例 名古屋女子大学 越原記念館「学生作品選抜展」における作品制作指導および展示	平成31年2月	<p>「学生作品選抜展 2018」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授</p>

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践例	<p>令和2年 2月</p> <p>令和3年 2月</p> <p>令和2年6 月～令和3 年1月</p> <p>令和3年6 月～令和4 年1月</p> <p>令和4年6 月～令和5 年1月</p>	<p>業解説、作品キャプションを作成した。</p> <p>「学生作品選抜展 2019」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授業解説、作品キャプションを作成した。</p> <p>「学生作品選抜展 2020」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授業解説、作品キャプションを作成した。</p> <p>「学生作品選抜展 2021」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授業解説、作品キャプションを作成した。</p> <p>「学生作品選抜展 2022」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授業解説、作品キャプションを作成した。</p> <p>「学生作品選抜展 2023」にて展示発表する生活創造デザインコースの学生作品の制作指導および会場における授業解説、作品キャプションを作成した。</p>
教育方法の実践例 業補助教材(プリント)の作成	令和2年6 月～令和3 年1月	名古屋女子大学 短期大学部 生活学科の准教授として担当の「ファッションクリエイティブ実習」(コース専修科目群、2年次配当、半期、選択2単位)において実践した。実習作品の制作工程と方法を詳しく図解したプリントを作成し、授業で配布した。作品制作時に実際の作品とプリントの図版を照らし合わせ、確認することによって理解度が向上し、作品精度が向上した。
教育方法の実践例 学生の授業外における学習効果促進のための取り組み	令和4年4 月～令和4 年8月	名古屋女子大学 短期大学部 生活学科の准教授として担当の「家庭生活における被服」(学科専門科目群、1年次配当、半期、必修1単位)において実践した。被服製作の経験がない学生が多い反面、少数であるが高校で多くの被服作品を製作した経験のある学生が混在する授業である。縫製技術のレベルに大きな差がある学生達に対して、同一デザインの作品を課題としているため、個々人のレベルに合わせた指導を実践する必要がある。授業内では、実習の工程ごとに製作に要する時間を細かく区切って提示して、遅れないように意識を持たせて指導した。また、スキルレベルに合わせた縫製方法を解説して、各学生が到達目標に向けて実習できるように工夫した。さらに、教員が各工程をデモンストレーションの様子を手元カメラで投影して、詳しく解説することによって理解度が向上した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	ニードルフェルティングによる無縫 製衣服デザインのための基礎研究	共	令和 2 年 3 月 10 日	名古屋女子大学紀要 家政・自然編 第 66 号	小田久美子, 島上祐樹 pp.33-41
学会発表	感性評価とファッションデザイン (口頭発表)	単	平成 30 年 3 月 3 日	平成 29 年(一社)日本家 政学会 被服心理学部 会 公開春季セミナー 事例研究	平成 29 年(一社)日本家政学会 被服心理学部会 公開春季セミ ナー要旨 pp.27-32